



I visited Spain in early January. It's been 3 years since I traveled abroad. Although there were only a few Japanese tourists here and there, each city was bustling with visitors. Before the trip, I watched language programs “Español para el viaje” on TV and learned as many useful phrases as possible. Click [here](#) for the Spanish I used on this trip.

## Andalusia

Malaga (マラガ)



ピカソ博物館



博物館中庭



Woman with Raised Arms, 1936  
ピカソはマラガの生まれ



コロナ禍はもう遠い過去のような賑わい



今シーズンのNHK「旅するためのスペイン語」にも登場したワインバル

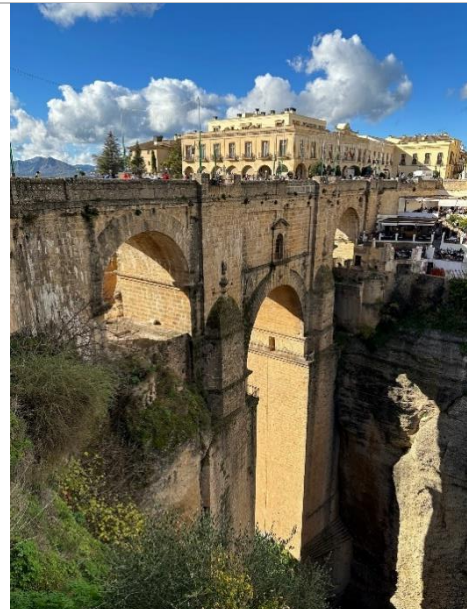
Mijas (ミハス)



Casares (カサレス)

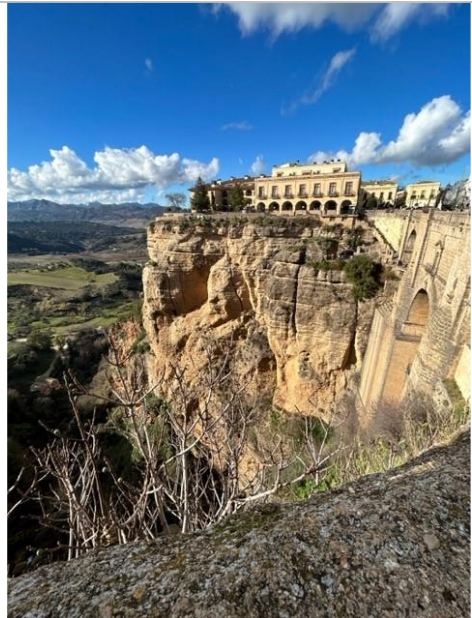


Ronda (ロンダ)





期待どおりの美しい崖の街 2時間の滞在ではとても足りない



タコの前菜



アンダルシア地方の伝統料理  
牛テールの赤ワイン煮 (Rabo de toro)

ロンダで遅めの昼食。スペイン料理は日本人の口に合う。どれも美味しい。

## Sevilla (セビージャ)



ホテル前的大通りもこの賑わい



ライトアップされた大聖堂



チケット完売で入場が叶わなかったアルカサル  
(スペイン王室の宮殿) 入口



スペイン広場



大聖堂入口 (オンラインチケット所有者は  
ここから三つ先の入口)



主祭壇



コロンブスの棺



主祭壇正面の聖歌隊席



大聖堂内部は複数の空間に分かれていて  
その規模と壮麗さに圧倒



パイプオルガン



Google Map でお手頃タパスの店と表示され  
たのが予約の決め手となったレストラン入口



ブッラータとサルモレホ?



食事からの帰りに見たヒラルダの塔

Córdoba (コルドバ)



この橋を渡って街の中心部に向かう



メスキータ



観光客に人気の花の小道



噴水のあるパテオ



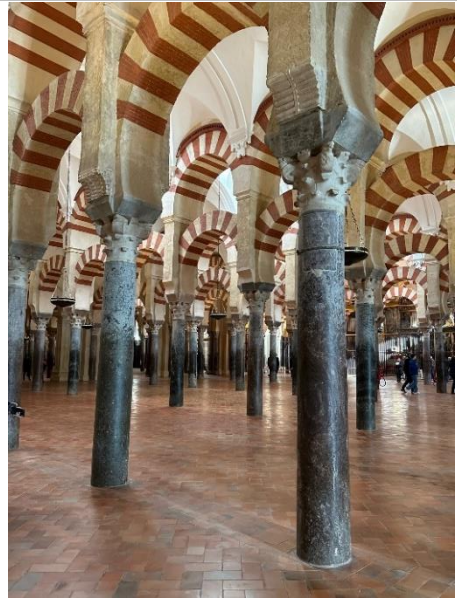
レストラン(El Caballo Rojo)入口



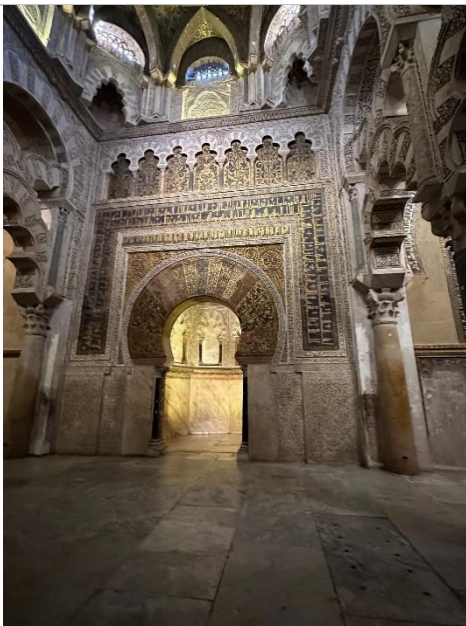
現地ツアーの昼食に組まれていたレストラン。皇族方の写真が飾っており、分不相応な気がしたけれど、あとでガイドブックを見ると普通に郷土料理の店として掲載されていた。



マクスラ（ミフラブの前室）



イスラム時代の礼拝の間



ミフラブ 美しさに感動



右が16世紀にメスキータ中央部に建造されたキリスト教の礼拝堂



キリスト教の方が展示物はきらびやか



聖歌隊席



旧ユダヤ人地区のシナゴーク

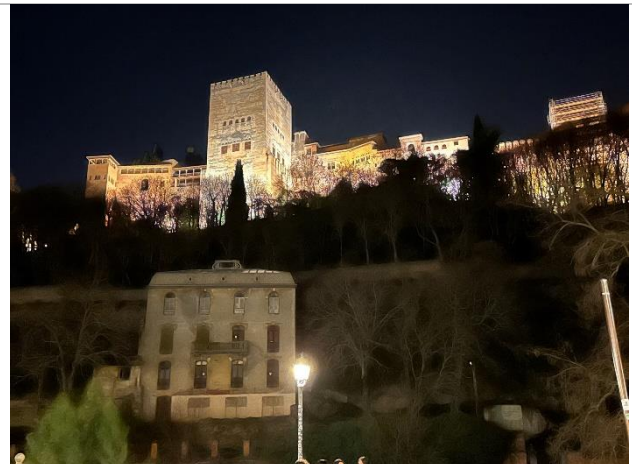


コルドバ最後の写真 名残惜しみながら次の街へ

### Montefrio (モンテフリオ)



### Granada (グラナダ)



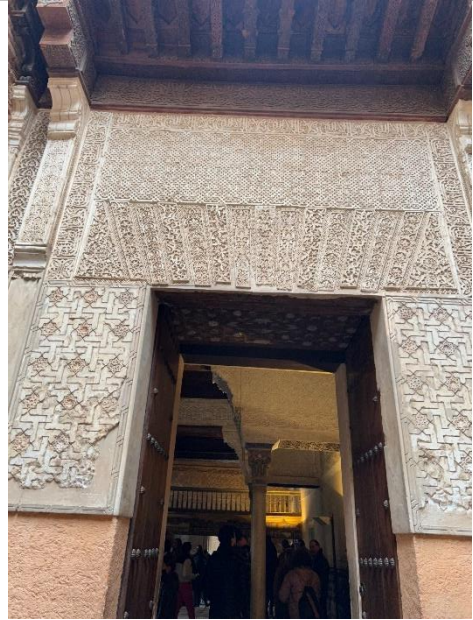
アルハンブラ宮殿  
学生の頃から行きたいと思っていた場所



Alhambra (アルハンブラ宮殿)



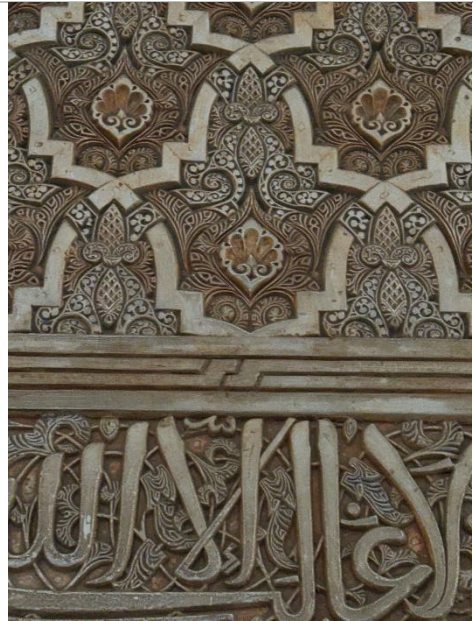
カルロス五世宮殿



宮殿入口 (見学はここからスタート)



メスアール宮にある祈祷室



壁面の彫刻はどれも素晴らしい





アラヤネスの中庭  
時間に余裕があったからこそこの青空



ライオンの中庭



諸王の間（イスラム様式の建物にしては珍しい）



星をイメージした見事な天井装飾



ヘネラリフェから谷を挟んでみたアルハンブラ宮殿全景

Generalife (ヘネラリフェ)



アルハンブラ宮殿からみたヘネラリフェ  
アルハンブラの夏の離宮



Catedral (グラナダ大聖堂)



外観よりも中は広くて大きい



ドームが美しい礼拝堂

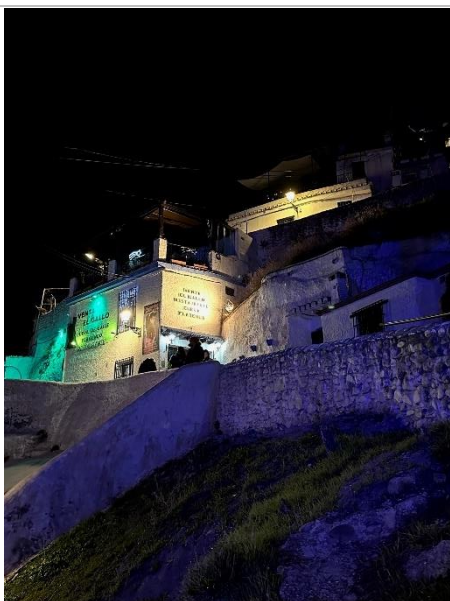


左の写真はカテドラルに隣接する建物の王室礼拝堂。イサベル女王が眠る。  
中は写真撮影禁止。カテドラルとこの王室礼拝堂は入場チケットを買うとオーディオガイドのアプリがダウンロードできる。アルハンブラ宮殿では長い列ができていたので借りるのをあきらめたことを考えると、アプリでダウンロードするオーディオガイドはとても便利。

### Bar & Tablao (バルと洞窟フラメンコ)



これに生ハムを乗せたプレートがテーブルから宙に浮いた状態でセットされ提供される



洞窟フラメンコ

音が岩盤に反響して迫力が増すのだとか



本場フラメンコは、学生時代にマドリードのタブラオで観て以来。迫力満点の踊りに感激。  
ここで飲んだサングリアも最高！（店によって味はずいぶん違う）

# Barcelona

## Fundació Joan Miro (ミロ美術館)



ミロを初めて知ったのは1970年大阪万博のガス・パピリオン陶壁画で。建築家ガウディを知るよりも数年前のこと。



ピカソの作品はマラガで観たのでバルセロナでは迷わずこちらの美術館に

## Sagrada Familia (サグラダ・ファミリア)



生誕の門 (日本人建築家も関わっているとか)

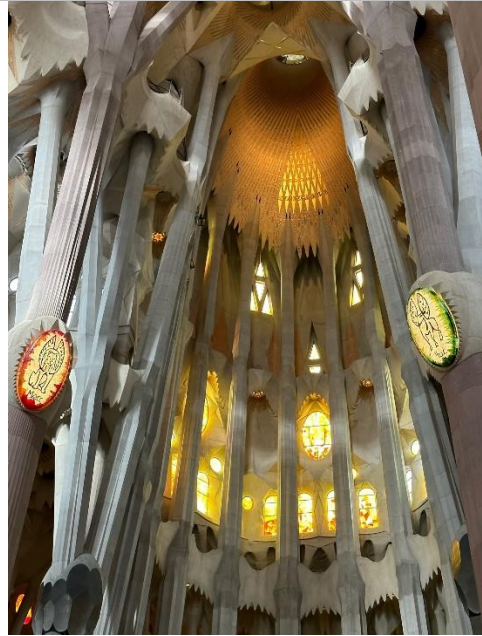


キリストの生誕

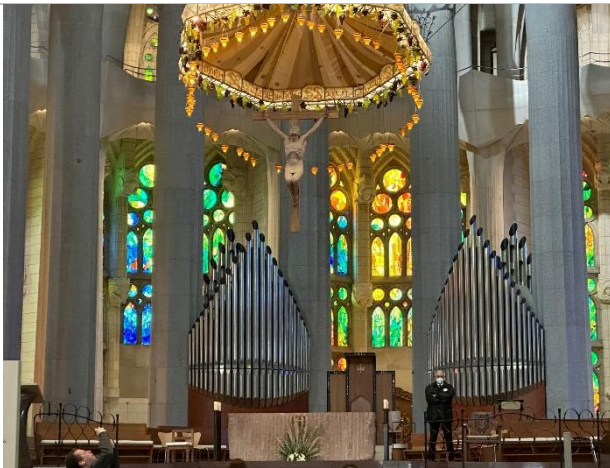




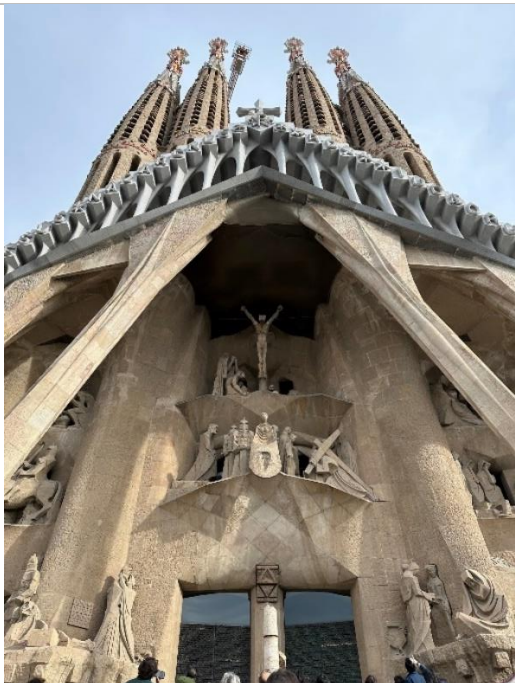
マリアの戴冠（上）と受胎告知(下)



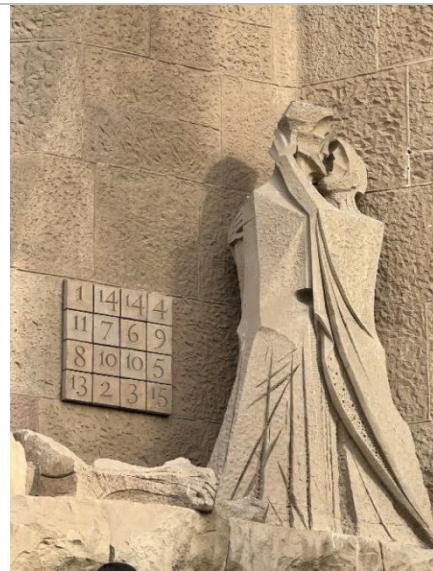
主祭壇上部



主祭壇



受難のファサード



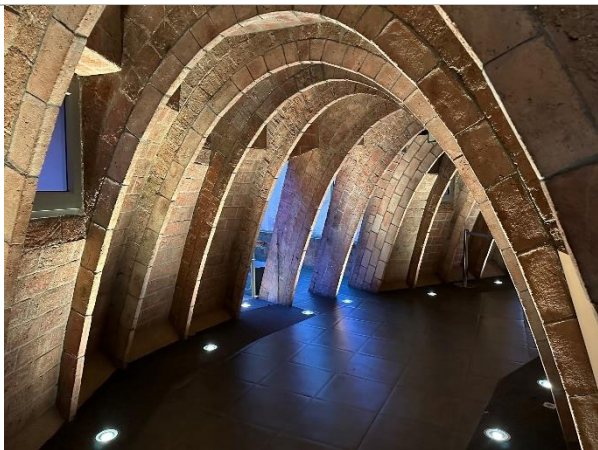
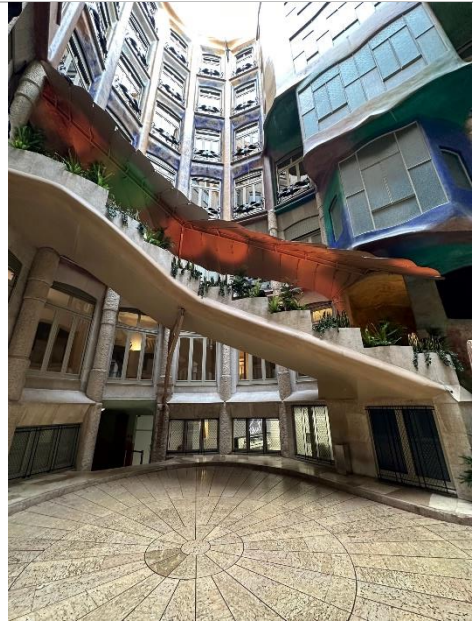
ユダの接吻

升目の数字は縦も横も合計すると同じ数でキリストが亡くなった歳を表している（帰国後オーディオガイドで再確認）

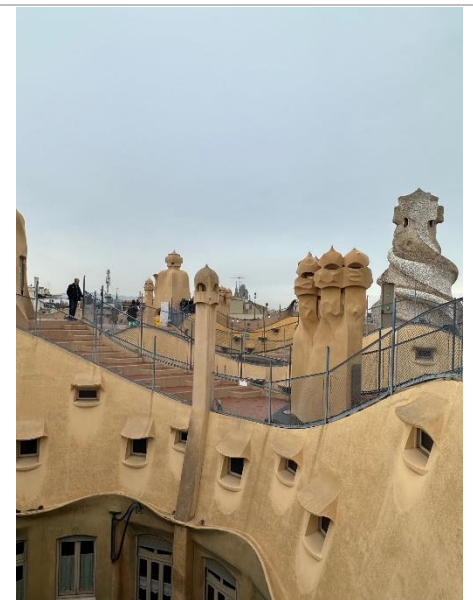
Casa Mira (カサ・ミラ)



別名ラ・ペドレラ。サグラダ・ファミリアと同じアントニ・ガウディの代表建築



屋根裏の回廊



## Obra de Gaudi (その他のガウディ建築)



カサ・バトリョ



ゲエル邸

## RCD ESPANYOL vs GIRONA FC (サッカー観戦)



声だけでなく歌や指笛のほか、両手でタオルを広げて思いきりふるなど、観客の熱気を直接肌で感じることができました。

なにしろ国内でもサッカーの試合は観たことがない超ド素人。しばらくは周りの人達がどちらを応援しているのかわかりませんでした。恥ずかしながら最初のゴールでようやく周りの人たちはエスパニョールを応援していることが確信に変わりました。(エスパニョールのユニフォームは青白の太い縦縞なんですね)

サッカー観戦を目的に旅程を組まない限り、訪問都市でサッカーが行われている確率はそれほど高くありません。今回はグラナダからバルセロナに到着した日の夜にエスパニョール対ジローナの試合が組まれており、当日券を買って無事観戦することができました。窓口で一番安い席と言われた割にはよい席でした。去年の年末にいつかサッカーの試合を観たいとブログに書きましたが、これほど早く実現するとは思っていませんでした。



## Tapas (食)



ピンチョス

一串 2.5EUR、つまようじの本数でお勘定



早く食べたいという気持ちが勝るので、料理の写真はどうしても撮り忘れてしまいます（もっと丁寧に撮ればよかった）。

上の写真はホテルのフロントで勧められタパス・バルでの夕食。味も店の雰囲気も良かったので、翌日の昼食も同じ店にしました。30分待って、案内されたのが左の写真のカウンター席。写真右上はマテ貝。調べたスペイン語で注文したら皿を置くときに、「マテ貝」と笑顔と日本語が返ってきました。

まだまだ日本人の観光客は戻ってきていません。気軽に海外旅行に行ける日常が早く戻ってくるとよいと思います。

最後までご覧いただきありがとうございました。

次ページ Visit Notes 「旅するためのスペイン語 (Español para el viaje) 実践編」に続く

# Visit Notes

## 旅するためのスペイン語 (Español para el viajar) 実践編

今回の旅行で使うことのできたスペイン語。千里の道も一歩から。たとえそれが3歩で終わるのだとしても挑戦することが楽しい。

### タクシーの運転手と

Al hotel Don Curro. ホテルドンクッロまで

Puedo pagar con Revolut? レボルトで支払うことはできますか

### ツアーのドライバーと

Soy Hideo. Soy de Tokio. 東京から来ました

Vives en Malaga? マラガに住んでいるのですか

Malaga muy vibrante. マラガはとっても活気がありますね

Mui animado. 活気がありますね

Hay muchas casas blancas. 白い家がたくさんあります

Dónde está el baño? トイレはどこですか

### バルやレストランで

Vino dulce. 甘口ワイン (マラガの名物)

Eres famoso en Japón. (TV に出ていた人を見つけて) あなたは日本では有名人です

La cuenta, por favor. お会計をお願いします

Esta muy bueno. とても美味しいです

No puedo comer mas. もうこれ以上は食べられません

### カウンター席隣の粋な紳士と

Estoy estudiando español en la television. テレビでスペイン語を勉強しています

Periodo? Tres meses. 期間ですか? 3か月です

Soy de Japón. 日本からきました

I tried using Revolut, one of FinTech (フィンテックの一つ Revolut を使ってみた)

※The contents of the article are all personal impressions and are not intended to recommend use. (記事はすべて個人の感想で利用を勧めるものではありません)

If I have the opportunity to travel abroad, I was thinking of trying new services that are not commonly used in Japan. Revolut is one of them. I heard that many people in Europe use Revolut for payment and other transactions. I couldn't use it due to the COVID-19 pandemic, but I finally had the chance to use it on this trip to Spain.

The charge to Revolut can be made either by bank transfer or from VISA (Mastercard is no longer available since last December). The usage is similar to Suica, but sometimes a PIN code is required. Taxis and retail outlets are equipped with handheld terminals.

After using it on my trip, I thought it was very convenient because it can be used at many stores and restaurants. No need to carry large amounts of local currency nor to find a good rate money changer. Revolut does not charge exchange fees except on weekends. There is also an advantage that there is no fee for remittances or splitting bills between acquaintances.

Many people in Europe register their cards in their smartphone wallet and make payments without taking the card out of their wallet, but with an iPhone purchased in Japan, it is not possible to register Revolut in the wallet. For those who are used to using the wallet, it may be a little inconvenient to have to take out the card from the wallet for payment.

I received a relatively prompt response in Japanese through the chat support system in spite of it being late at night. As it is not yet widely used in Japan, I felt that they are investing considerably to acquire users.

From the user's point of view, it is a convenient and attractive service, but on the contrary, I was wondering what kind of business model it is. I wanted to know more about i) how much revenue is generated in which business field, ii) the share in Japan and future prospects, and iii) the impact on the existing financial business and so on. I would like to keep monitoring future trends.

利用者からみると Revolut は便利で魅力的なサービスですが、逆にどのようなビジネスモデルなのか気になりました。今後の動向を注意して見ていきたいと思えます。

2023年2月24日

「2023年4月17日より、カードによるチャージには1.7%（含消費税）の手数料が発生する」という通知がありました。今後も利用条件は変わっていくと考えた方がよさそうです。

2023年3月16日